

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターぼえむ		
○保護者評価実施期間	令和6年11月18日		～ 令和6年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	67	(回答者数) 46 (世帯数64の内)
○従業者評価実施期間	令和6年11月18日		～ 令和6年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	R6 年 12 月 21 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・発達段階ごとのグループ分けをした小集団療育と必要に応じての個別療育の提供。児発から放デイへの流れ有。	・子どもたちが取り組みたくなるような活動内容の提供。	・保護者様との直接面談の機会を定期的に行っていく。
2	・専門職の常駐(心理士と音楽療法士)	・保護者様への周知。(モニタリング時やお便りなどで)	・親子で触れ合える行事実施時などに相談の場の提供や体験する場の提供をしていく。
3	・就園に向けたクラスにて給食までの提供。	・個の特性に合わせた給食(視覚的配慮や食器の工夫など)	・職員が食に関する研修を受ける機会を設けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会などの未実施。	・保護者会の未企画。	・保護者様が気軽に足を運んでいただけるような場の設定。
2	・専門職(PT・ST)が常駐していないこと。(外部から来ていただいている為)	・保護者様の要望に応えるまでに時間を要している。	・研修を実施し、他分野の知識も深めていく。頂いたアドバイスを応用していく。
3			